

(甲) 定義及艦齡問題……………一一

(乙) 質的制限問題……………一三

主力艦艦型縮小問題―不建造帶―八千噸超過巡洋艦ノ建艦休日―改装ニ依ル既成甲巡噸數增大許
容……………一三

第二章 一九三六年倫敦海軍條約ノ成立……………一一

第二編 帝國ノ倫敦會議退後ニ於ケル交渉案件……………一二

第一 「オブザーバー」參加問題……………一二

第二 太平洋防備制限問題……………一三

第三 潜水艦使用制限規則參加國擴大問題……………一五

第四 帝國ノ新條約加入方ニ關スル英國政府ヨリノ招請……………二二

第五 英國「ホーキンス」級甲級巡洋艦四隻ノ処分問題……………三四

帝國ノ倫敦會議退後ニ於ケル海軍問題ノ經過

序 說

一、倫敦海軍會議ハ本年一月十五日帝國ノ脱退後英米仏伊四國間ニ続行セラレ三月下旬ニ至リ條約案ノ起草ヲ了シ同月二十五日英米仏(伊ハ參加セス)及英國自治領ノ各代表(南阿連邦及愛蘭自由國ヲ除ク)ハ新條約及署名議定書、追加議定書ニ署名シタリ尚署名ニ際シ英米間ニ文書ノ交換行ハレタリ

新條約ハ五編三十二條ヨリ成リ一九三七年ヨリ同四二年末迄六ヶ年ニ亘ルモノニシテ質的制限及毎年ノ建艦計画ノ相互事前通報ヲ骨子トシ量的制限ノ規定ヲ含マス又締約國カ英米仏ノ三國ニ限ラレタル關係上非締約國カ條約所定ノ制限ヲ超ユル艦船ヲ建造スル場合ヲ予見シテ制限離脱ヲ保障シ居リ殊ニ主力艦ノ備砲制限ハ十四吋ト定メタルモ本年末迄二日伊兩國カ十四吋ノ制限ニ同意セサル場合ニハ之ヲ十六吋トスル旨規定セリ

署名議定書ハ本條約カ明年一月一日ヨリ發效セサル場合ノ暫定的措置ヲ規定シ

追加議定書ハ本條約消滅後モ建艦計画ノ事前通報及情報交換カ繼續セラレ又更ニ軍縮ノ行ハレンコトヲ希望スル旨ヲ明ニシ

英米交換文書ハ三月二十四日及二十五日附ニシテ兩國海軍均等ノ原則ヲ確認シ且兩國間ニ建艦競争ナカルヘキコトヲ確言セルモノナリ

二、會議脱退後我方トノ交渉案件ニシテ現ニ懸案タルモノ左ノ如シ

(一) 太平洋防備制限問題

華府条約第十九条ニ規定セラルル本件防備制限条項ヲ明年以後ニモ存続方ニ関シ英側ヨリ我方意向ヲ照会越シタルニ対シ我方ハ趣旨ニ於テ異存ナキ旨ヲ答ヘタルカ英側ヨリ更ニ米側意向ヲ確メ我方ニ内報スルコトトナリ居レリ

(二) 潜水艦使用制限規則参加国拡大問題

仏伊カ倫敦条約第四編本件規則ヲ受諾スルト共ニ日英米仏伊五国ハ本件規則ニ加入方ヲ一切ノ国ニ勧誘スルコトヲ英国政府ニ要請スル趣旨ノ「プロセヴェルバル」ヲ作成スルコトトナリタルカ手續問題ニ関シ日仏間ニ多少意見ノ合致ヲ見サル点アリテ目下両国間ニ交渉中ナリ

(三) 帝国ノ新条約参加問題

四月三日附ヲ以テ英国政府ヨリ帝国政府ノ新条約参加方ヲ招請越セリ

(四) 英国「ホーキンス」級巡洋艦処分問題

倫敦条約ニ依リ本年未迄ニ処分ヲ要スヘキ「ホーキンス」級巡洋艦四隻ノ改装保有方ニ関シ本年二月中英海軍側ヨリ帝国海軍側ノ意向ヲ照会越シ我海軍側ハ条約違反ト認ムル旨ヲ回答シタルカ五月一日英国政府ヨリ「メモランダム」ヲ以テ本件ニ対シ帝国政府ニ於テ異議ナキヤヲ照会越セリ

第一編 帝国ノ脱退後ニ於ケル倫敦海軍會議經過概要

第一章 會議經過

昭和十一年一月十五日海軍會議第一委員会第十回會議終了後帝国全権ハ委員会議長宛會議脱退ヲ通告シ爾後會議ハ英米仏伊四国間ニ続行セラレタルカ第十三回會議ヨリ帝国「オブザーバー」参列セリ會議經過概要左ノ如シ

第一 第一委員会會議經過

一、第十一回會議（一月十六日）

帝国脱退後最初ノ委員会タル第十一回會議ニ於テハ先ツ議長ヨリ帝国ノ會議脱退通告文ヲ披露シ之ニ対スル答翰案（後出第三章第一参照）ヲ決定シ

次テ建艦通報問題ニ付討議シ全会一致左記提議ヲ採択セリ

「情報交換ハ凡ユル海軍縮協定ノ緊要ナル部分ニシテ又建艦計画ノ事前通報ハ最モ希望スヘキモノナリ」

二、第十二回會議（一月十七日）

右會議ニ於テハ前回ニ引続キ年次建艦計画ノ事前通報及情報交換ニ関スル英米仏伊各案ニ付討議シタル上前回ノ委員会ニ於テ採択セラレタル提議ヲ基礎トシテ年次建艦計画ノ事前通報及情報交換ニ関シ具体案作